

令和3年度 さいたま市立中尾小学校 学校関係者評価書

さいたま市立中尾小学校
学校関係者評価委員長 さくら 草五郎

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数 9名

(2) 実施回数 3回

第1回：令和3年7月6日 第2回：令和3年12月16日 第3回：令和4年2月28日（書面開催）

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- ・饗庭委員：学校評議会では、授業の見学の機会もあり、子どもたちの様子を間近で見ることができ、よかったです。また、毎回、お話を聞いて学校の熱心な取組もよく知ることができました。
- ・さくら委員：授業、基礎・基本の定着、対いじめの取組、行事の運営など高い評価で何よりです。あいさつに關しては理想論的かもしれませんが、教師率先より受けでありたいという気もします。
- ・栗原委員：今年度11月までの期間で不登校が昨年度同期と比べると増加しているとのことですが、コロナ禍で行動が制限され、友達関係・家族関係で複雑な心の動きがあると思われそうですが、思ったより少ないような気がします。また、いじめに關しても増加があるとのことですが、先生方が以前より増していじめ被害について真剣に取り組み、小さいいじめも見逃さない結果でそう心配ないような気がします。
- ・遠藤委員：授業について98%の保護者の方から肯定的な評価をいただいているのは素晴らしいと思います。中学に進学すると若干下がってしまう実状を考えますと、中学校として改めて改善策を考えねばと反省しております。不登校に係る部分について小中共通の課題ととらえ、小中一貫教育の観点から一層の協議が必要と考えます。今後ともよろしく願います。
- ・河野委員：評価結果(3)「食育指導」について
約97%の児童と保護者が肯定的な評価をしているとのことだが、クラブの子どもたちを通して、シェフ給食、セレクト給食、給食週間の話題は出てくるので、学校での素晴らしい取組が生かされているのを感じる。
評価結果(4)「開かれた学校づくり」について
新型コロナウイルス感染症拡大を予防する観点から、制限がある中でも学校として積極的に情報を発信したり、行事の公開をしたりしているのが、地域から見ても感じ取れる。
- ・池田委員：学校教育に關し、多岐に渡り指針マニュアル等作成、それを基に実行し、数値的に自己評価している姿勢には感心するとともに頭が下がります、大変ご苦労様でした。
- ・山ノ井委員：コロナ禍での教育活動はとて大変だと思えます。いつもありがとうございます。朝、子どもたちが元気に登校する姿に「私も一日頑張るぞ!」という気持ちになります。中尾小学校に行くと、子どもたちが作ったポスターがすごく素敵で、立ち止まって見てしまいます。コロナ禍で今までと違うことが増えて大変かと思いますが、来年度もよろしく願います。
- ・田野口委員：「子どもたちにどのような力を身に付けさせたいか」の課題は、得意な子、苦手な子がそれぞれいると思います。苦手な子には家庭でのフォローが必要になるとは思いますが、先生方もあきらめないで指導していただけたらいいなと思います。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・日々の生活や、生徒指導朝会・道徳の授業であいさつの大切さを学ばせる指導を進め、学校内外で積極的にあいさつをかわそうとする児童を育てる。また、学校・家庭・地域が一体となって取り組めるよう、まず教師が率先してあいさつを行っていく。
- ・食育指導については、給食での取組を来年度も継続して行っていくことで、食べることへの関心を高めたり健康な食生活を送ったりすることができるようにしていく。
- ・学校ホームページを積極的に活用したり、保護者が学校での児童の様子を知る機会を増やしたりする。そのために、学校ホームページの活用やタブレットの活用に関する校内研修に取り組んだり、感染症対策を十分に講じた上で、授業参観や学校公開等を適切に設定したりする。
- ・小中連携を強化し、不登校児童への対応や中1ギャップへの対策を検討していく。また、今年度より一部導入している教科担任制において、令和4年度は教科担任が受けもつ教科を増やし、令和5年度の完全実施に向けて取り組んでいく。

さいたま市立中尾小学校長 田口 幸久